

平成27年2月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,650,138	223,787	2,184,272	82.4%	465,866		
1. 営業収益	2,310,063	200,398	2,130,022	92.2%	180,041		
1. 給水収益	2,280,090	177,124	2,099,159	92.1%	180,931		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,973	23,273	30,863	103.0%	△ 890		
2. 営業外収益	339,156	23,390	53,436	15.8%	285,720		
3. 特別利益	919		815	88.7%	104		
9. 水道事業費用	2,761,747	137,189	1,330,811	48.2%	1,430,936	1,452,785	52.6%
1. 営業費用	2,058,630	78,519	750,809	36.5%	1,307,821	872,667	42.4%
1. 原水及び浄水費	412,648	33,644	290,607	70.4%	122,041	328,349	79.6%
2. 配水費	279,782	15,829	180,253	64.4%	99,529	218,167	78.0%
3. 給水費	105,465	12,393	84,900	80.5%	20,565	88,838	84.2%
4. 受託工事費							
5. 業務費	119,465	9,376	98,779	82.7%	20,686	116,741	97.7%
6. 総係費	143,348	7,278	96,270	67.2%	47,078	120,572	84.1%
8. 減価償却費	955,368				955,368		
9. 資産減耗費	42,554				42,554		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	289,098	58,670	186,762	64.6%	102,336	186,762	64.6%
3. 特別損失	394,019		393,240	99.8%	779	393,357	99.8%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	1,030,288	151,690	346,468	33.6%	683,820		
1. 企業債	634,500		57,600	9.1%	576,900		
2. 負担金・補償金	73,664		62,729	85.2%	10,935		
3. 補助金	126,567		27,255	21.5%	99,312		
4. 出資金	181,226	150,286	181,226	100.0%			
5. 加入金	14,331	1,404	17,658	123.2%	△ 3,327		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	1,925,968	285,248	1,072,030	55.7%	853,938	1,268,169	65.8%
1. 建設改良費	1,315,269	120,191	603,736	45.9%	711,533	1,268,169	96.4%
1. 取水施設整備費	169,233		59,673	35.3%	109,560	167,176	98.8%
2. 浄水施設整備費	160,467	1,188	59,919	37.3%	100,548	156,090	97.3%
3. 配給水施設整備費	982,609	119,003	484,143	49.3%	498,466	943,337	96.0%
6. 管理施設整備費							
7. 消防設備整備費	2,960				2,960	1,566	52.9%
8. 災害復旧費							
2. 企業債償還金	610,699	165,057	468,294	76.7%	142,405		
12. たな卸し資産購入限度額	37,513	219	28,225	75.2%	9,288		
①有収水量	8,147,300	619,857	7,455,973	91.5%	691,327		
②供給単価	279.86	285.75	281.54	100.6%	△ 1.68		
③給水原価	258.40	221.32	125.75	48.7%	132.65		
人件費	232,125	15,234	213,290	91.9%	18,835		
1. 収益的収支	199,089	13,187	182,464	91.6%	16,625		
1. 職員給与費	194,943	12,864	179,520	92.1%	15,423		
2. 特別職(報酬、賃金等)	4,146	324	2,944	71.0%	1,202		
2. 資本的収支	33,036	2,047	30,825	93.3%	2,211		
* 職員給与費	227,979	14,911	210,345	92.3%	17,634		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.5%	7.3%	8.6%				
2. 全職員	10.0%	8.4%	10.0%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	39,649,660	40,251,431	601,772	・みなし償却修正 ・小規模水道資産評価
*減価償却累計額	16,199,600	16,712,744	513,144	
B. 流動資産	2,747,729	3,234,832	487,103	
1. 現金預金	2,277,801	2,490,084	212,283	
2. 未収金	320,868	413,095	92,226	
3. その他	149,059	331,653	182,594	貯蔵品・前払い金等
4. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
C. 繰延勘定				H26年度より廃止
D. 水道事業費用	377,200	1,291,178	913,978	
1. 営業費用		711,256	711,256	
2. 営業外費用		186,762	186,762	
3. 特別損失	377,200	393,160	15,960	
1. 借方合計=A+B+C+D	45,284,940	47,826,989	2,002,853	+長期前受金収益化累計額
E. 固定負債	10,828,484	10,894,163	65,679	
1. 企業債	10,404,784	10,470,463	65,679	
2. 引当金	423,700	423,700		
F. 流動負債	1,086,210	707,209	△ 379,000	
1. 企業債	606,244	142,401	△ 463,843	
2. 未払金	313,626	252,205	△ 61,421	3. 未払消費税含む
3. 資本的収入整理勘定	124,923	150,367	25,444	・H26.6から前受金のみ
4. その他流動負債	41,416	162,236	120,820	
①下水道預り金				
②水道料金預り金	23	182	159	
③その他	41,393	162,054	120,661	・仮受消費税他
G. 繰延収益	8,662,885	8,942,989	280,105	
1. 長期前受金	8,662,885	8,942,989	280,105	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	2,510,352	3,049,548	539,196	
H. 資本金	5,845,462	5,876,402	30,940	
1. 自己資本金	5,845,462	5,876,402	30,940	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	2,661,799	2,661,799		
1. 資本剰余金	14,922	14,922		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,646,878	2,646,878		
K. 水道事業収益		2,031,182	2,031,182	
1. 営業収益		1,979,318	1,979,318	
2. 営業外収益		51,104	51,104	
3. 特別利益		760	760	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	45,284,940	47,826,989	2,261,944	+減価償却累計額
a. 供給単価(円、銭)	261.33	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除		
①実数値	120.44	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	269.29	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	69.74%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	86.49%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	457.41%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	352.10%	=現金預金÷流動負債		

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成27年 2月期 業務実績報告書(水道管理課)

△一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,139	333,878	332,520	332,185	1,358	1,693
2 調定水量	m ³	615,469	7,406,085	7,472,900	7,444,600	△ 66,815	△ 38,515
3 調定料金(税抜)	円	164,003,878	1,948,455,789	1,952,800,000	1,952,708,824	△ 4,344,221	△ 4,253,035
4 口振加入件数	件	25,220	279,871	-	279,881	-	10

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,104	-	83,723	△ 619
6 給水件数	件	30,099	-	29,877	222
7 開栓処理件数	件	153	2,624	2,372	252
8 閉栓処理件数	件	120	2,546	2,367	179
9 給水工事設計審査	件	51	781	853	△ 72
10 給水工事竣工検査	件	76	947	904	43
11 経年メーター交換	件	377	4,282	3,834	448
12 メーター口径変更	件	2	55	19	△ 36
13 月末停止件数	件	4	118	119	△ 1

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	190,076,857 円	90.95 %	188,178,875 円	90.82 %
15 過年度分	4,062,326 円	97.88 %	4,397,504 円	97.71 %
16 全体(計)	194,139,183 円	-	192,576,379 円	-

4 給水装置工事指定業者(登米1件)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	9	16	12	13	9	8	14	6	105	113	218

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)		工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他					
	入札件数	締結件数										
入札件数	148/154	0/0	73/77	0/0	28/28	0/0	25/25	0/0	22/24	0/0	0/0	0/0
契約締結	一般	24	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	81	0	36	0	25	0	6	0	14	0	0
	随契	43	0	13	0	3	0	19	0	8	0	0
	合計	148	0	73	0	28	0	25	0	22	0	0

※入札中止 当月 0件:累計 3件/入札不調 当月 0件:累計 6件/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	55	12	・布設 2、布設替 3、移設 1件、連絡管 3、その他 3
中間検査	0	0	
合計	55	12	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
部長等連絡調整会議	2日	庁内連絡調整、事業調整、各種行事等
第11回事業調整会議	2日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
平成27年度予算概要説明	6日	市長、副市長への説明
第11回安全衛生委員会	10日	行事計画及び日程調整
第11回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	12日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
第11回経営分析会議	20日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
給水拠点訓練(米山総合支所)	20日	給水タンク設置訓練
例月出納検査	24日	月例監査
産業建設常任委員会	27日	平成27年度当初予算説明
指名委員会	-日	
入札	-日	
緊急メールの発出	-日	漏水 11、水質 1、破損 4、訓練 1 計 17

特記事項

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益(税込み)は177,124千円で、1月期に比べて13,255千円の減で、予算執行率は92.1%、対前年同月比(税抜き)では4,253千円の減、営業外収益は23,390千円で、負担金・補助金・補償金20,573千円事務手数料2,739千円、受取利息等78千円となっています。

当期の営業費用は78,519千円の執行で、1月期に比べて9,243千円の増、累計額750,809千円、予算執行率は36.5%となっています。営業外費用は企業債利息58,670千円を執行しています。

②資本的収支

当期の収入は、一般会計出資金150,286千円、水道加入金が1,404千円となっています。加入金累計は17,658千円で、予算執行率は123.2%となっています。

支出は、285,248千円で、建設改良費の工事請負費は、配水管布設事業に4,158千円、配水管布設替事業に55,282千円、配水管移設事業に8,262千円、緊急時連絡管整備事業に40,651千円を、機器整備費は、浄水場に1,188千円、メーター購入等に3,357千円を、調査設計費は、配水管布設・布設替事業に2,710千円、新田配水池築造事業に1,998千円を、企業債元金償還金に165,057千円を執行しています。

③たな卸し資産購入

当期は、薬品で177千円、消耗品41千円を執行しています。

2. 今月の出来事

(1) 上水道事業運営審議会を開催

平成26年度第2回上水道事業運営審議会を2月3日に開催しました。今回の会議は平成27年度水道事業予算(案)の概要について説明を行い、審議いただきました。審議の結果、予算(案)とそれに伴う建設改良事業については、妥当と判断されましたが、答申書には建設改良事業の遅滞ない推進、27~29年度に策定される施設更新計画について各種水道施設の位置づけを明確にし、水道事業の専門家や市民の方々の意見を参考に策定すること、また水道料金を含めた適正な財政計画もあわせて検討することが付帯意見として付されました。



(2) 平成27年2月定期議会

平成27年2月定期議会が2月4日に開会しました。事業所では平成26年度補正予算と平成27年度当初予算(案)の2議案を提案しました。補正予算の概要について、収益的収入では889万円の減で、還付消費税の減額、支出では4,362万円の減で、取水施設修繕費、納付消費税の減額、資本的収入では6億4,398万円の減で、建設改良費の減に伴う企業債・工事負担金・補助金・出資金の減額、支出では7億7,757万円の減で、それぞれ取水施設整備事業で6,211万円、浄水施設整備事業で546万円、配給水施設整備事業で7億1,000万円の減額で、2月26日に原案どおり可決されました。27年度予算は、水道事業収益で前年比6,818万円増の26億8,753万円、支出は前年比3億5,283万円減の24億5,550万円、資本的収入では前年比15億1,204万円増の30億620万円、支出は16億4,172万円増の40億7,438万円で、3月に審議されます。

(3) 平成26年度定期監査の実施

平成26年度定期監査が2月10日に実施されました。26年12月31日現在での水道事業収益や支出の概要、建設改良事業の進捗状況について説明を行いました。水道料金のコンビニ納付の状況、水道ブラスターの活動状況等について質問があり、その後の講評では、決算に向けて流用や充用等が発生しないよう留意することや事務処理ミス防止のための予防対策の徹底、さらなる注意喚起についてお話いただきました。

(4) 水道ブラスター会議の開催

水道ブラスター会議が2月18日に開催されました。今月は、水道ブラスターのほかに水道業務受託業者職員や事業所職員も参加、佐藤次長が昨年10月15日に改訂した登米市地域水道ビジョンの概要と主な改正点について説明を行いました。



(5) 災害訓練の実施

2月期災害訓練を2月12日に実施しました。今月は震度5弱の地震が発生したとの想定で、非常配備訓練を実施しました。今回の訓練はマッピング端末を使つての災害情報収集訓練も行いましたが、今後も継続して訓練を実施、初動対応の整備充実を図ります。

平成27年 2月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	755,708	9,382,771	10,237,150	9,552,268	-854,379	-169,497
総配水量	716,645	8,908,045	8,147,180	9,165,934	760,865	-257,889
1 有効水量	686,741	8,139,546	7,328,150	8,225,014	811,396	-85,468
(1)有収水量	619,857	7,455,973	6,790,400	7,494,212	665,573	-38,239
(2)無収水量	66,884	683,573	537,750	730,802	145,823	-47,229
2 無効水量	29,904	768,499	819,030	940,920	-50,531	-172,421
(1)漏水量	28,010	760,345	814,000	935,742	-53,655	-175,397
(2)その他無効水量	1,894	8,154	5,030	5,178	3,124	2,976
3 有収率	86.49	83.70	83.35	81.76	0.35	1.94

※当月期の最大配水量は、4日(水)に記録した【27,094m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	116,848	4	107,502	2	7,290	2,056	98%
イ 浄水施設整備事業	8	127,527	4	63,256	7	59,919	4,352	96%
ウ 配給水施設整備事業	80	793,165	29	459,194	64	297,649	36,322	95%
エ 繰越事業	12	274,769	1	32,915	11	238,876	2,978	98%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂浄水場 F1遊離残留塩素	保呂浄水場水系 (測定栓数: 7)	東和町水系 (測定栓数: 4)	石越町水系 (測定栓数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定栓数: 1)
平均	0.57	0.44	0.45	0.53	0.37
最低	0.50	0.26	0.19	0.37	0.35
最高	0.64	0.63	0.40	0.64	0.40

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂浄水場	H27.2.24	<0.7	<0.7	米谷水系浄水場	H27.2.24	<0.5	<0.6
石越浄水場	H27.2.23	<0.6	<0.6	楼台浄水場	H27.2.24	<0.8	<0.7
大萱沢浄水場	H27.1.20	<0.6	<0.6	合の木浄水場	H27.2.20	<0.7	<0.5
米川水系浄水場	H27.2.24	<0.6	<0.6	大綱木浄水場	H27.2.20	<0.7	<0.8
錦織水系浄水場	H27.2.24	<0.5	<0.8	—	—	—	—

特 記 事 項

1 下り松ポンプ場造成工事で掘削した岩鬼を新田配水池の基礎材料として活用

6月に発注した下り松ポンプ場の地盤工事が2月20日に完了しました。掘削された岩鬼は、資源の有効利用と経費の節減を考慮し、新田配水池への基礎材料として搬出しました。
新田配水池築造工事現場では、搬入された岩鬼をガラパゴス(現場組み立て型破砕機)にて細かく破砕することで、砕石として活用しています。



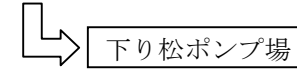
基礎掘削完了状況



岩の破砕状況



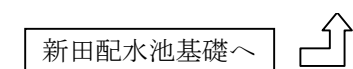
基礎掘削状況



下り松ポンプ場



新田配水池敷地内



新田配水池基礎へ

2 下り松2号取水ポンプの異常を確認

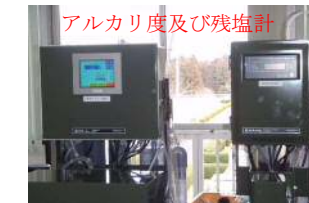
13日(金)の日常点検時で2号取水ポンプの異常を発見したため、運転を停止し4号ポンプに切り替えました。故障について調査したところ、使用不可能という状態ではありませんでしたが念のため当分の間休止することとしました。尚、2号ポンプは27度の修理予定となっていましたので、早急に修理を行うこととしました。

3 保呂羽浄水場等水質発信機設備更新完了

保呂羽浄水場等の水質発信機(原水アルカリ度計、急撈水残塩計、F1残塩計、米谷水系浄水場濁度計各1台)の更新整備が終了しました。

今回更新した水質発信機は米谷が平成18年、保呂羽が平成14年に設置したものです。

水質発信機は24時間各浄水処理地点の水質データを計測し監視側へ送っている設備で、送られたデータを基に浄水運転者は薬品の使用量や組合せを決定します。発信機は基準を越脱したときは警報を発し、知らせる機能を併せ持っています。



アルカリ度及び残塩計



F1残塩計



米谷濁度計

4 北上川の原水水質(pH値)高め)調査を実施

北上川の水質「pH値」が、1月初旬頃より「7.7~8.0」と高めの傾向が続いていましたが、徐々に改善され23日より平常の浄水処理になっています。高めに推移した期間は、炭酸ガスを使用し原水pH上昇を抑え適正な状態で浄水処理を行いました。

本件に関し、北上川上流の河川水質調査を16日に浄水場等運転管理受託者と合同で実施しました。また、北上川水系から取水している水道関係団体や河川管理者からの聞き取りなどを行いましたが、原因を特定するまでには至りませんでしたので、今後も水質情報などの共有についてお願いしたところであります。

5 平成26年度漏水調査の実施 (注:6月から実施)

2月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管51箇所、空気弁等5箇所、消火栓1箇所、給水管64箇所、止水栓7箇所、メータ22箇所、宅内3箇所)153件の漏水を発見しています。

6 地震発生状況

17日(火)8時06分頃、三陸沖を震源とするM6.9(登米市震度4)の地震が発生しましたが、この地震による施設への被害はありませんでした。また、震度3の地震も17日と26日の2回発生しています。